

家出しようかと迷つてゐるのだと言つた。

「も一度戀人に逢ひたまへ」と俺は言つた。

life itself

人生をフライにしてお上り、

戀

ソース

underline

「都合に依つて君の悲しみを、カナシミにして上げる事も出来様もんだ」

驛のベンチには三四人の人がバラ／＼に掛けてゐた。

噂を聞いてねてる人も、草履穿きの朝鮮人も居た。

「君の戀人が亂視でさへなければ、メヤニよりとして、レターを書いて足下を氣を付けて手渡しするんですね」

夜が明けたので中學生は何處かへ行つた。